

まさよ通信

郡上市議会議員 田代 まさよ 2023年 10月 No,13

議会は市民の思いが反映される場所

日頃から防災対策を強化 コミュニケーションを大切に
笑顔が見える支え合い お互いに見守り支える仕組み
健康を守り応援するまち 健診・検診を推進

やる気!
で行動
元気!
は取り柄
勇気!
を持って挑みます!!



この夏は郡上の踊りが通常開催されました。白鳥おどりにつきましては、マイ下駄作り事業で下駄を作り、その下駄をはいて踊りに参加してくれた生徒が多かったようです。

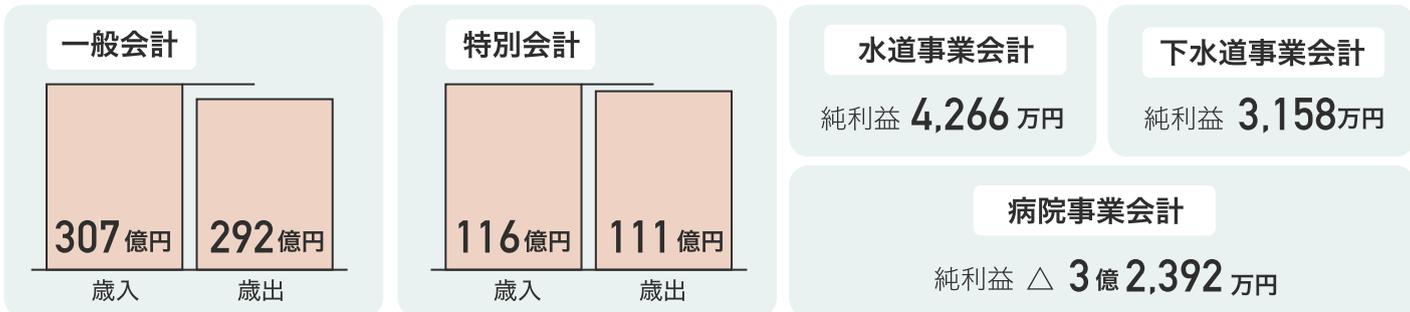
今年は大勢の若手が参加してくれたことでより活気づき、年配の方々がパワーがもらえてとても良かったとのことでした。関係者の方々も喜んでみえました。郡上市の伝統として長く引き継がれるよう、私も参加をしていこうと思います。

寒さも厳しくなります、インフルエンザなどのウイルス感染にも気をつけてお過ごしください。

令和5年 第4回定例会報告 9月8日～9月29日

条例一部改正/令和5年度補正予算/令和4年度決算認定 /財産の取得及び処分などの34議案を可決

● 令和4年度決算認定



ロシアのウクライナ侵攻により、物価高騰の影響を受けるなど厳しい年でした。依然として自主財源の確保が重要課題となっています。財政の健全化にむけて、引き続き評価・監視を行い提言や立案につながるように努めてまいります。

● 請願1件 (賛成少数で不採択)

物価高騰に見合う老齢基礎年金等の改善を求める意見書を政府に送付することを求める請願書

● 意見書1件 (可決)

带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書



活動報告 7月～9月

7月 Jul.

- 3日・10日 広報広聴特別委員会
- 11日～13日 北海道視察研修
- 15日 郡上おどり発祥祭
- 18日 広報広聴特別委員会
- 22日 白鳥おどり発祥祭 惣万 佳代子さん講演会
- 25日 高鷲放課後クラブ読み聞かせ
- 26日 大野市議会交流会
- 27日 白鳥放課後クラブ読み聞かせ
- 29日 八幡変装踊り(2位)

- 30日 防災士役員会
- 31日 総務常任委員会

8月 Aug.

- 1日 大和北放課後クラブ読み聞かせ
- 6日 山口 洋児氏旭日双光章祝賀会
- 7日 大和 薪能 くるす桜
- 19日 中西ふるさと牛道夏祭り
- 20日 西坂水神様神事(中西) 貴船神社拝殿踊り
- 21日 明宝放課後クラブ読み聞かせ
- 23日 中西いきいき教室
- 27日～28日 青山の小学生民泊

- 28日 全員協議会
- 31日 総務常任委員会

9月 Sep.

- 3日 市防災訓練・中西神社縁日
- 5日 「ふるさとをたずねて」牛道小
- 8日 9月定例会開会・広報広聴特別委員会 中西地区地域医療懇談会
- 10日 白鳥観光ガイドの会
- 11日 予算特別委員会
- 12日～14日 決算認定特別委員会
- 15日 一般質問
- 16日 食の祭典inぎぶ郡上2023

- 19日 一般質問
- 20日 一般質問
- 21日 総務常任委員会・市民協働センターとの意見交換会
- 22日 郡上市商工会女性部 インスタグラム活用セミナー
- 23日 白鳥変装踊り(入賞できず)
- 24日 郡上市社会福祉フェスティバル
- 25日 防災士役員会
- 29日 9月定例会閉会 市政功労者表彰
- 30日 まどか保育園運動会

9月定例会 私の質問と市の答弁



郡上市商工会について

質問 コロナ禍における郡上市商工会の事業や商工会に対して市の役割は何があったか

答弁 可児商工観光部長

メイン事業である経営改善普及事業では、会員への巡回指導や、窓口指導などを継続実施し、地域の中小・小規模事業者に対し、**専門的な経営指導や支援**をしている。コロナ禍の相談件数は、令和2年度は、8,894件、令和3年度には7,861件の経営指導等を行っている。コロナ禍における市の商工会に対する役割として、「**コロナマル経融資**」に対し国の3年間の利子補給の後の**4年間を全額利子補給**する。また、「**郡上市売上減少事業者支援金**」など、コロナ経済対策31事業に対して商工会には応援頂き市内事業者への事業継続のための支援を行ってきた。

質問 地域に商店を残すことは、地域の活性化、小さな拠点における社会的基盤の維持、住民同士の助け合いのためにも必要と考える。市の支援は。

答弁 可児商工観光部長

家族内承継や第三者承継による事業承継が行えなければ、廃業に追い込まれ地域に必要な商店等が存在しなくなる可能性もあることから、大きな課題であると認識している。商工会を事務局とした「**郡上市事業承継支援センター**」の役割は益々大きくなっていく。専門家の指導のもと事業承継を望む事業者や、廃業を考えている事業者に対し、伴走支援型のサポートを行い、**市内外を問わない事業者への第三者承継のマッチング手続きや、国・県の事業承継支援機関等への登録手続きなど**を行い、きめ細やかなサポートをしている。今後においても支援体制の連携強化や、支援制度の強化により事業者の事業継続のための支援は引き続き行っていく。



こども政策について

質問 市においては、令和6年度から「こども家庭センター」の設置に努めることになる。設置に関してはどのような方針か。子ども達が安心して自分の思いを伝え、聞いてもらえることが大切と考える。子ども・若者から意見を聴くためにどのように周知するのか。また、子ども・若者が参加する仕組みの方法は

答弁 田口健康福祉部長

妊娠期から子育て期にわたり支援を提供することを目的として設置された子育て世代包括支援センターと児童虐待や困りのある家庭の相談を含むすべての子ども、その家庭、妊産婦等の相談・支援に対応する**子ども家庭総合支援拠点**を設置して双方が協力、補完しながら様々な相談支援に対応している。「こども家庭センター」は、両機関を一体的に運営することにより、母子保健・児童福祉両部門の連携・協働をさらに深め、虐待への予防的な対応から切れ目ない対応などの強化を図ることを目的として全国に設置することが推進されている。市としては、「こども家庭センター」を令和6年4月に設置する方向で準備している。組織体制については、支援員等の増員は予定していないが、総括支援員を1名配置することを予定。

子どもの意見を聴く仕組みについては、すでに実施されている**市での好事例を生かし**継続していくと共に、今後は、子どもに関する施策の計画策定時に子どもの意見を聴く取組みを検討し、**身近なSNSを活用し気軽に意見を発信できる環境をつくる**など様々な手法を組み合わせた仕組みを検討しながら、関係部署や機関と協力しながら、意見聴取の枠組みを発展させていきたい。





2023.10.8
風流踊りのつどいin郡上



2023.10.14
もみじカップ東海
北陸6件ソフトボール大会



2023.10.27
良良カフェ 円徳寺

2023.10.29
ふるさとしごとり夢まつり



2023.11.10
林道白鳥～高鷲線 完成式典





2023.12.3
郡上市防災司会 家具固定講習会



2023.12.26
各務ヶ原市庁舎見学会
(女性グループ)



2023.12.26
各務ヶ原市庁舎見学会
(女性グループ)

